

## 地 域 再 生 計 画

### 1 地域再生計画の名称

地域の6次産業化の推進による産業活性化と新たな雇用創出プラン

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

横手市

### 3 地域再生計画の区域

横手市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市は、平成17年10月に旧横手市平鹿郡8市町村の県内初の郡市一体が合併し、新たに「横手市」として誕生した。人口は約10万人で秋田県第2の都市である。

地域の特徴として、横手盆地の肥沃な耕地と豊かな緑や清流に恵まれた自然環境を有し、これらを生かした田園からは多様な農産物が生産されている。また、JR奥羽本線と北上線、東北自動車道秋田道等が交差する秋田県南地域の交通の要所で中核都市である。

主な産業としては、米やりんご、ぶどう、しいたけ等の多様な農産物を生産している農業を基盤とし、「食と農からのまちづくりプロジェクト」の継続的な推進を強化している。また、自動車関連産業を中心とした製造業の集積や各地域の温泉施設や体験型総合観光施設「秋田ふるさと村」、冬の伝統行事「かまくら」の観光資源やB級グルメグランプリに輝いた「横手やきそば」や「いぶりがっこ」などの発酵食品等、豊富な地域資源を有する特徴のある都市である。

平成20年12月、本市では、リーマンショック以降の対応として「横手市緊急雇用対策本部」を立ち上げ、国、県、関係機関と連携を取りながら、総力を挙げ経済・雇用対策を講じて、経済雇用環境の改善に努めてきたところである。その後、有効求人倍率は少しずつ回復しているところであるが、平成23年3月に発生した東日本大震災の間接的被害の影響やその後の自然災害、円高等のため、平成23年12月末で0.53倍に止まり秋田県内においても低い地域である。

また、下記表のとおり年齢別人口の推移を見ても、年少人口及び生産年齢人口が減る一方で老年人口は増加し、少子高齢化の問題が顕著となっており、産業別就業人口では全ての産業が減少している。

年齢別人口推移（単位：人）

項目	H17	H22	増減率
年少人口	13,871	11,371	△18.0%

生産年齢人口	59,292	56,114	△5.4%
老年人口	30,491	30,879	1.3%
計	103,654	98,367	△5.1%

(国勢調査)

産業別就業人口の推移 (単位：人)

項目	H 1 7	H 2 2	増減率
第1次産業	9,286	7,939	△14.5%
第2次産業	14,330	12,282	△14.3%
第3次産業	28,665	27,145	△5.3%
計	52,281	47,366	△9.4%

(国勢調査)

農家数、農業産出額 (単位：戸、億円)

項目	H 1 7	H 2 2	増減率
農家数	10,936	8,920	△18.4%
農業産出額	280.1	228.1	△18.6%

(農林業センサス、生産農業所得統計)

製造業事業所数、従業者数、製造品出荷額等 (単位：箇所、人、百万円)

項目	H 1 9	H 2 2	増減率
事業所数	268	236	△11.9%
従業者数	9,374	8,042	△14.2%
製造品出荷額等	139,396	138,989	△0.3%

(工業統計調査)

卸小売業事業所数、従業者数、商品販売額 (単位：箇所、人、百万円)

項目	H 1 6	H 1 9	増減率
事業所数	1,914	1,694	△11.5%
従業者数	10,313	9,272	△10.1%
商品販売額	240,653	220,038	△8.6%

(商業統計調査)

観光客数 (単位：千人)

項目	H 1 9	H 2 2	増減率
観光客数	3,486	4,051	16.2%

(観光統計調査)

このような地域の特性、課題を踏まえ、横手市総合計画では、まちづくりの基本方針のひとつとして「豊かな自然と調和した活力あふれるまちづくり」を定め、農業等の6次産業化・高付加価値化の促進、地元企業の活性化、豊かな食や新たな観光メニューの開発等、産業の振興を目指すこととしている。

当市の地域再生計画は、農業素材育成・生産、食料品製造業、SNS情報通信、観光分野を重点に、産業間の連携による波及効果によって雇用の創出、拡大を図るものである。農業素材育成・生産においては、農産物、伝統食品の地域素材の育成、洗い出しを進めることにより、付加価値の高い農産物の作付面積の増加に結びつき、農業所得を伸ばす。食料品製造業においては、「食と農からのまちづくり事業」と連携した農産物の二次加工による新たな特産品開発や商品開発の推進。SNS情報通信においては、横手産の受発注直販システムを構築し、SNS等によるITを活用した新たな事業を推進することにより、横手の「旬」を発信。観光分野では、自然資源や産業資源、文化資源などを連携し、さらに、横手ツーリズムを開発し国内外の誘客を図るものであり、地域の6次産業化を推進し、地域資源を最大限に活用した産業の活性化における新たな雇用の創出、新事業の立ち上げ、創業者の増加を目指すものである。

## 目標達成の指標

### ① 雇用の拡大に関する指標

実践型地域雇用創造事業において

・事業実施による雇用創出者数の合計（計画期間終了時） 355人

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

農業素材育成・生産に関しては、経営耕地面積が約18,000haと県内の約1割を占めており、農業が基盤の地域と言える。主力は米であり、市の農業算出額は減少しているが、米以外のりんご、しいたけ、アスパラガス等は県内第一の出荷量を誇り、農業の複合化が進んでいる。農業者等と生産から販売まで一貫した連携を図りながら、地域素材の育成につなげる。

食料品製造業に関しては、食料品製造企業等と農業者等との連携を図りながら、人材育成に特に力を入れ、加工技術の向上、受注拡大等を図る。また、横手産品の加工商品の開発や新製品の開発に向けて事業を実施していく。

SNS情報通信については、ソーシャルネットワークサービス等のITを活用した直販システムを構築し、高齢者にも簡単に使える横手産品の受発注システムの開発、整備をしていくことにより、農商工業者の起業の促進や産業振興の推進、商店街の賑わい創出につなげる。

観光分野においては、地域に眠る様々な資源を発見・認識し、資源の連携方法や再利用法を実践・発信できる誘客施策や地域にあったツーリズムの開発、体験型ツ

アを企画・立案できる人材育成事業を実施する。

5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業  
該当なし

5-3 その他の事業

5-3-1 「実践型地域雇用創造事業 B0906」

横手市雇用創出協議会において実施する事業

構成員 横手市、秋田ふるさと農業協同組合、おものがわ農業協同組合、横手商  
工会議所、よこて市商工会、横手雇用開発協会、秋田県南工業振興会、横  
手市観光連盟

(1) 地域企業の人材力強化育成事業

地域内企業の経営者や管理職、従業員を対象に、人材は財産であることを再認識するため人材力アップに関わるセミナーやグループワークを多く取り入れ、異業種交流を促進し、新産業分野への進出を図る内容の講座等を実施する。

市、工業団体と連携を図りながら、多様なセミナーを開催し、経営改善や技術力の向上、受注拡大、雇用の創出を図る。

(2) 新製品開発、新規事業企画人材育成事業

食料品製造業を中心とした開発部門、雇用管理部門の幹部を対象とし、新製品の開発、新規事業を開拓するためのノウハウを学ぶ研修を実施する。また、実践メニューにより開発した新製品を評価する公開研修を開催する。

(3) 6次産業化、起業・創業人材育成事業

創業や新しい事業の立ち上げを目指す地域の農商工業者を対象に、創業までの準備、事業計画策定、経営等のノウハウについて学ぶ研修を実施する。

J Aや食料品製造企業等と連携を図りながら、起業、創業支援策を実施する。

(4) 地域産物活用人材育成事業

地域の農産物や伝統食品、地場産品を最大限活用した新たな商品開発を目指す方を対象に、商品開発の考え方を学ぶ研修を実施し中核的な人材を育成する。

市や県、J A、食料品製造企業等と連携を図りながら、魅力的商品の開発に向けたアイデア等、セミナーを通して具体的に研修する。

(5) 地域ブランド構築、販路開拓推進人材育成事業

地域ブランドを構築するため、販売計画や販売方法を学び、商品の事前マーケティング戦略のノウハウを学ぶ研修を実施する。

各商工団体、各事業所などと連携を図りながら、多角的なマーケティング戦略について研修し、販路拡大による事業規模の拡充を推進し、雇用の拡大を図る。

#### (6) SNS等IT化推進人材育成事業

IT活用によるソーシャルネットワークサービスの構築を学ぶ研修を実施し、横手産の農産物や商品等をパッケージにし全国に発信できるノウハウを学ぶ研修を実施する。

各商工団体やJA、IT関連事業所等と連携を図りながら、SNS等による情報発信能力技術について研修し、新事業への展開と事業規模の拡充を推進し、雇用の拡大を図る。

#### (7) 地域資源連携、発信人材育成事業

地域に眠る様々な資源（自然資源、人的資源、産業資源、文化資源、公的資源）を発見・認識し、資源の連携方法や再利用法、転換利用を実践できる人材を養成するため、自ら発信できる人材育成研修を実施し、実践支援員のスキルアップにもつなげていく。

関係機関等と連携を図りながら、地域資源連携ツアーの企画立案、養成、発信力研修により産業の活性化、雇用の拡大を図る。

#### (8) 横手ツーリズム開発人材育成事業

国内、海外観光客の誘客につなげるため、地域資源を開発する体験型ツーリズム講座を実施し人材育成する。また、新しいツーリズム開発に関する人材育成講座を開催するとともに、体験型教育の基礎知識を学び指導できるインストラクターを育成し、誘客数の増加を図り観光産業の推進を図る。

JAや農家、関係機関と連携を図りながら、自然環境の他、地域の文化、歴史等を開発し、観光産業の推進と雇用の拡大を図る。

#### (9) 就職促進

地域企業と求職者に対して協議会が実施する各種セミナー等の告知や周知等の情報を発信するため、協議会ホームページを立ち上げ、市内外へ多くの情報を提供する。また、本事業を利用した事業者、求職者を対象に、就職面接会を実施し、求職者の選択肢を広げることで就業機会や雇用の拡大を図る。

#### (10) 雇用創出実践メニュー

地域資源である自然、風土、文化などを改めて洗い出し、地域の農産物（にんにく、もやし等）や商品の開発、そのパッケージ、セット商品づくりを推進し、首都圏商店街等の直売所において横手の農産物や伝統食品、開発した商品等を紹介する。また、試験販売や価格調査を行い地域ブランドの確立を図るとともに横

手ツリズムの体験などの観光プロモーションを実施し、「横手ファン」の獲得により知名度アップと誘客につなげる。さらに、地域ビジネスの普及を図るため、農産物、伝統食品、商品開発した加工商品などについて、ソーシャルネットワークサービス等を活用した直販システムを構築するとともに、試行販売等を実施し事業の運営を行う。

### 5-3-2 「支援措置によらない独自の取組」

#### (1) 「食と農からのまちづくり」

本市は、地域に密着した基幹産業である農業を、地域産業のコアと位置づけ、農産品・加工品を中心とした地域の「食」と「農」に関わる産業を元気にするため「マーケティング推進課」を設置している。

その推進目標は、『①安全安心な地場産品づくり、地域ブランドの発掘・開発②地元住民への食育活動で健康増進と地産地消を推進③横手の「売れるモノ」を県外へ販路拡大し農家の所得向上につなげる』としており、マーケティングアドバイザーと契約し、様々な施策を展開している。

#### (2) 「ものづくり創造支援事業」

市内の中小企業者の持続的・自立的発展と活動を促し、産業の活性化を目指すことで雇用創出に向けた事業を創造、促進を図るため、「専門家の活用」、「産学連携」、「新製品・新技術の開発」、「販路拡大」の4つを柱とし、事業に対する意識を醸成し、さらに高度な事業に取り組む企業者の育成に努めている。

また、食料品製造業については、製造業全体の約2割を超える事業所があり、食と農からのまちづくり事業を活用し新たな特産品を開発、改良し、地元産の農産物を使用した加工食品など、まるごと横手産として魅力を高めていく。

#### (3) 「情報発信事業」

「蔵のまち」として、注目を集めている横手市増田地区商店街は、イベントをきっかけに通年で観光客が訪れるようになっている。現在は、伝統的建造物群保存地区として申請を目指しており、この事例を見本に各地域の地域資源を改めて洗い出し、その良さをどのように発信し賑わいを創出するのか検討しているところである。

また、公式ツイッターなどを活用した情報発信に加え、多くの方に情報を提供できる手段として、フェイスブックをはじめ、観光情報から暮らしの情報まで、様々な横手の「旬」を発信している。さらには、個々の商店の魅力アップを図ることにより商店街の賑わいを取り戻し、高齢者にも簡単に使える横手産品の受発注システムの開発、整備により販路開拓をしていくことで、インターネットを活用した個人や少人数での起業を促進し、産業振興の推進を目指している。

#### (4) 観光誘客事業

本市には、体験型総合観光施設の「秋田ふるさと村」があり、年間約76万人が来場している。このほか、全国的に有名な「かまくら祭り」や市内各地域にある温泉施設などで年間400万人の観光客が本市を訪れている。

また、B級グルメグランプリに輝いた「横手やきそば」が全国的なブランドを確立しており、原材料全てを地元産でつくる横手焼きそばも開発され、また横手やきそばタクシーによる市内案内など、付加価値をつけたおもてなしが評判となっている。さらに、国内外の観光客や香港、韓国のツアー客が横手を訪れ、観光・買い物を行っており、地域の個性が光るツーリズムの開発が必要となっている。

## 6 計画期間

認定を受けた日から平成27年3月末まで

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

横手市雇用創出協議会において、アンケート調査等により雇用状況についての検証を行い、取組みに対する評価を行う。